

名前：

インターネットの発達につれて、新聞や雑誌はもういらないという声がだんだん出てくる。情報の新しさと速さからいえば、インターネットで調べるよりいい方法はないから、新聞や雑誌は当然もういらないと思われている。××××しかし、私はこれからも新聞や雑誌は必要だと思っている。以下は私の三つの理由である。

第一に、正確性と権威性からいって、新聞や雑誌はインターネットよりはるかに重視されていると思う。インターネットでは、誰でも自分の意見を発表できるので、そんな情報の正確性には判断しにくいと思う。また、新聞と雑誌の文章は必ず作者の名前がついているので、その作者が自分の書いた内容の正確性という責任を持つことが読者には感じられる。そういうわけで、読者にとって、新聞や雑誌の情報はインターネットより信頼できると思っている。

第二に、保存性からいえば、新聞や雑誌は

インターネットより長いと思う。インターネットの情報は一番新しいとはいうものの、保存時間は一番短くて確保できないものだ。それより、新聞や雑誌は紙という実体で作られているものだから、長い年月が経っても適切に保存すれば、何百年後の人々も見られると思っている。

第三に、携帯性からいえば、新聞や雑誌はインターネットより便利だと思う。インターネットの情報を利用するとき、まずコンピューターがなければ利用できない。けれども、コンピューターは重くて、どこにもコンピューターを持てば面倒だから不便だと思う。それより、新聞や雑誌は軽くて、電車やバスで立っていても気軽に読めるので、コンピューターよりずっと便利だと思う。

以上の三つの理由で、私は新聞や雑誌は必要だと思っている。インターネットがどう発達しても、新聞や雑誌はともに長く続くと思っている。